

小林市立病院 経営強化プラン 令和7年度（上半期）評価

プラン対象期間：令和6年度～令和9年度まで

評価対象期間：令和7年度上半期

（令和7年4月～令和7年9月まで）

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	実績	評価	
			病院	委員会
P25～P27	【重点課題1】 えびの市立病院・国民健康保険高原病院との連携体制強化	令和6年度に実施した、3首長・病院事業管理者・病院長による設立協議会で法人設立の合意に至らなかったことを受け、現時点では、法人設立の具体的な日程については未定となっている。 その後、えびの市長選挙や高原町長選挙が行われ、両首長とも新任となったことから病院間で首長公約や今後の動きについて確認は取っているものの、法人設立への大きな進展はない状況である。 引き続き、病院、行政と連携を図りながら、病院の役割分担やあるべき姿を想像しながら調整を進めていく。	3	3
P28～P29	【重点課題2】 医師の確保及び働き方改革やDX推進等国の制度改正への対応	医師確保においては、依然として厳しい状況が続いている。 令和7年度においては、宮崎大学整形外科から、派遣いただいていた常勤医師1名について令和7年9月末をもって引き上げるとの連絡があり、益々厳しい状況となっている。 引き続き医学生受入れを積極的に行いながら医療従事者の確保に努める。 ICTやDXの推進については、4月の先進地視察研修実施後、DX委員会を立ち上げ、取組強化を図った。今後は、DXの推進、電子カルテ更新、ペーパーレス化の取組、AI議事録ソフト導入などの検討を進める。	3	3

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	実績	評価	
			病院	委員会
P30～P31	【重点課題3】 回復期機能の充実・地域包括ケアシステム への貢献	令和6年3月に回復期リハビリテーション病棟を地域包括ケア病棟に転換済みである。 地域包括ケアシステムの実現を目的として、令和6年7月から当院敷地内に訪問看護ステーションを開設し、特に終末期を迎えた患者さんの在宅ケアを重点的に行う体制を強化できた。	5	5
P32～P33	【重点課題4】 地域医療機関及び介護施設等との連携体制 強化	医療圏内の医療機関とは、顔の見える関係づくりはできている。引き続き、円滑な在宅復帰や施設への復帰ができるよう介護施設等との顔の見える関係の強化を図っていく。 介護施設等との連携の強化については、当院の感染管理認定看護師2名が保健所と連携し、11月に開催予定の高齢者施設等従事者向け感染症対策研修会で発表を行う予定である。 また、在宅復帰を円滑に行えるようメディカルソーシャルワーカーや退院調整看護師が医療機関や介護施設との定期的な面談を通して情報共有を行っている。	4	4

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	実績	評価	
			病院	委員会
P34～P35	【重点課題5】 収支改善に向けた各種取組強化	収支改善に向けての重要な視点は、入院患者数に起因しており、一日平均入院患者数の増となるよう紹介患者や救急患者の受け入れを積極的に行った。 施設基準においては、算定可能な届出を行いながら収益増となるよう取り組んだ。	3	3
P36	【重点課題6】 新型コロナウイルス感染症等新興感染症への対応に向けた体制整備	県から、令和6年4月1日付けで第一種協定指定医療機関及び第二種協定指定医療機関の指定を受けた。 感染対策向上加算1の施設基準の届出を行い、院内の感染対策の強化を行いながら小林市、高原町、都城地域の38の医療機関と連携し、感染対策に関する合同カンファレンスを年に5回、また、小林保健所、都城保健所及び都城・小林連携病院と新たな新興感染症を想定した合同訓練を年1回以上実施するよう取り組んでいる。	5	5

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	実績	評価	
			病院	委員会
P37～P41	1. 役割・機能の最適化と連携の強化 （1）地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割・機能 二次医療に特化した診療体制を維持しながら救急患者の受入や日曜日の小児科診療等の提供及び地域医療支援病院並びに災害拠点病院等の体制強化を進める。 （2）地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能 患者や患者家族が安心して在宅での療養を選択できるように在宅復帰を支援する。 （3）機能分化・連携強化 かかりつけ医（一次医療）との役割分担 （4）医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 （5）一般会計負担の考え方 （6）住民理解の取り組み ホームページの充実及び病院広報誌の充実	西諸医療圏で唯一の中核病院として、入院や救急、感染や災害などの医療提供を行いながら地域医療支援病院として医療提供を行っている。 また、医師会や行政等の関係機関と連携しながら、当院の果たすべき役割（検査や手術等の入院に特化した診療及び救急や災害医療）について医師会や住民にご理解いただきながら診療を提供した。 一方で、不採算部門を運営していく中で、診療報酬の社会変化への対応が成されず、給与費や経費が膨らみ、病院経営がこれまでに無く苦しい状況となっている。このことを受け、一般会計からの経費の負担についても、繰出基準に基づき、適正な額の算出等を行いながら所管課とも協議を進め、繰出金の増額について9月議会で可決された。 また、当院の取組状況について情報共有を行うため、毎月1回、地域医療介護四者連携会議を当院で開催し、近況について連絡調整を行っている他、ホームページや病院広報紙「こすもスマイル」で院内の取り組み等について周知した。 また、事業管理者が、9月議会全員協議会で令和6年度の病院の運営状況等について説明を行った。 その他、病院の情報をよりリアルタイムでPRできるようInstagramの立ち上げの準備を進めている。	4	4

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	評価内容	評価	
			病院	委員会
P42	2. 医師・看護師等の確保と働き方改革 (1) 医師・メディカルスタッフ等の確保 内科医師の確保 薬剤師の確保 (2) 働き方改革への対応 医師の働き方改革は、時間外・休日労働の上限制度が労働基準法に盛り込まれ、令和6年4月から施行された。 A水準（年の上限時間960時間）	鹿児島大学旧第一外科から、消化器外科・腫瘍外科の常勤医師1名を令和6年4月から新たに派遣いただいております、常勤医師は13名で1名増となりました。しかし、内科医については、新たな確保に至っておらず、令和7年10月から宮崎大学整形外科から派遣中の常勤医師1名が引き揚げとなり、整形外科が1名体制となる。よって、令和7年10月から常勤医師12名となる。 薬剤師については、令和6年度に新たに1名確保（令和7年4月採用）したことを受け、令和7年度においては、薬剤師の募集は行っていない。 医師の働き方改革については、時間外労働時間の基準となるA水準を維持するよう院内の労働安全衛生委員会で医師以外の職種も含め時間外労働時間の実績を確認しており、現時点で、A水準に定める年の上限時間を超える見込みの医師はいない。	3	3

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	評価内容	評価	
			病院	委員会
P44	3. 経営形態の見直し 地方公営企業法全部適用のもと経営改善を進める。	現時点では、経営形態の見直し予定はなく、その議論も行っていない。 経営改善においては、依然、厳しい状況が続いており、入院患者数の今後の動向が収益に大きく影響すると考えている。新規患者の確保のため、かかりつけ医からの紹介患者、救急患者等の受け入れを積極的に行いながら経営改善に努めることができた。	3	3

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	評価内容	評価	
			病院	委員会
P44	4. 振興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 (1) 感染拡大時に備えた病床の確保 (2) 院内感染対策の徹底、感染防護具の備蓄等	令和6年6月から感染管理認定看護師1名を感染管理者として専従配置し、医師や他職種で組織する感染対策チームを中心に対策を行い、感染対策向上加算1の届出を行った。 （当院在籍中の感染管理認定看護師 2名） (1) 感染拡大時に備えた病床の確保 感染拡大時に備えた病床の確保については、陰圧が可能な個室を4床確保している。 (2) 院内感染対策の徹底、感染防護具の備蓄等 院内感染対策においては、医師や感染管理認定看護師2名を中心に院内はもとより、医療圏外の感染対策向上加算1の届出を行っている医療機関と相互連携を図りながら医療圏内の医療機関や介護施設等の感染管理指導等も行っている。 なお、感染対策に必要な消耗品等については、最低3ヶ月分の備蓄を行っている。	5	5

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	評価内容	評価	
			病院	委員会
P45～P46	5. 施設・設備の最適化 (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制 ア 病院の改修及び医療機器の更新 (2) デジタル化への対応 ア 電子カルテシステム更新 イ ICTの活用	(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制 当院は平成21年9月に新病院での診療を開始し、令和6年9月時点で運用開始から15年が経過している。施設整備及び設備整備については、令和5年3月に策定した長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、劣化度、優先度を考慮しながら整備を進めている。 令和7年度においては、停電時における手術室等での電源確保のための無停電装置、直流電源装置の部品交換及び蓄電池交換を予定しており、現在、契約締結中で、11月末から12月上旬にかけて施工する見込みである。 (2) デジタル化への対応 電子カルテシステムの次回更新は、令和9年度を予定しているため、今年度当初に発足したDX委員会を中心に更新に向けた情報収集等を開始した。 また、ICTの活用においては、先進地視察等を行った結果、ペーパーレス会議システムやAI議事録の導入など、費用対効果や業務効率化等を十分検討した上で積極的に進めている。	4	4

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。

経営強化プラン令和7年度上半期（令和7年4月から令和7年9月）

経営強化 プラン 該当ページ	改革プラン評価項目	評価内容	評価	
			病院	委員会
P47～P48	6. 経営の効率化等 (1) 経営指標に係る数値目標	経営指標に係る数値目標に対する令和6年度上半期の実績については、別紙参照	3	3

【評価指標】

5：目標達成している。4：概ね目標達成している。3：目標達成に至っていない。2：計画と実績が大きく乖離している。1：計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である。